

2015年 新春のごあいさつ

公益社団法人 東京都山岳連盟
会長 佐藤 旺



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のごあいさつを申し上げ、また、この1年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となりますようお祈り申し上げます。

ふりかえりますと、昨年は台風による土砂災害や地震など自然災害の多い1年でした。とりわけ9月の御嶽山の事故は、火山の噴火によるものとしては戦後最悪と言われており、私共登山にかかわる者にも大きな衝撃を与えました。この事故により犠牲になられた皆様の御冥府をお祈りし、ご遺族には謹んでお悔やみ申し上げます。また、こうした事故をいかに防ぐか、それはあまりに大きな課題ではありますが、可能なところからでも検討することが私共の責務であると思います。

さて、都岳連としては、昨年は「都岳連新春の集い」の初開催や参与会の設立がありました。中でも、新事務所への移転が大事業として記憶に新しいところです。京橋の旧事務所は、東京駅から徒歩10分の好立地と大家の服部様のご好意による使い勝手の良さから、長年にわたり都岳連の活動の拠点の役割を果たしてきました。周辺の再開発によるやむを得ないものとは言え、私共には住み慣れたふるさとを去るような寂しい思いもありました。

ただ、新しい事務所も、JR神田駅から徒歩5分の便利なところにあります。今年4月で公益法人化から2年が経ちますが、この新しい事務所で公益社団法人にふさわしい適正な運営と、現代の登山界の動向にふさわしい新しい事業の展開と推進に尽力して参るつもりであります。

なお、現在の私を含めた理事、監事は5月総会までで任期切れとなります。従って、今年は今後の都岳連を担う新しい役員を選任の年でもあります。1月末までには選挙管理委員会を設置し、3月には新理事、新監事の立候補、また推薦をお知らせする正式な文書を加盟団体あてに送ります。都岳連として今年で最も重要な行事でありますので、正会員、加盟団体の皆様のご理解をお願いいたします。

本年も都岳連の運営や事業の推進には、皆様のご理解とご協力が何より必要です。関係各位、また、加盟団体、そして、個人会員の皆様には、これまで以上のご支援をお願い申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。